

平成30年度 国内需要安定化事業
航空会社・旅行会社・メディア・インフルエンサー等 招聘事業
実施要綱(ゲスト用)

制定日 平成30年6月14日

(趣旨)

第1条 この要綱は、沖縄県の委託を受け、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下、「OCVB」という。)が、沖縄県が持つ既存のポテンシャルの高い観光資源を収集・精査し、コンテンツ化したものを旅行会社やメディア等が視察する機会を創出し、旅行商品の造成やメディア媒体への露出、SNS等での拡散を活用した入域観光客の確保及び更なる誘客拡大を図る「航空会社・旅行会社・メディア・インフルエンサー等 招聘事業」(以下、「本事業」という。)を行うにあたり、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 本事業は、沖縄観光ブランド「Be.okinawa」(※添付資料①)の価値観に沿った、新しい沖縄の旅のスタイル「Day0(デイゼロ)」(※添付資料②)をテーマに、旅行会社やメディア等の担当者を招聘する。沖縄県の独自性や優位性、観光地として既存のポテンシャルや魅力を十分に活かしたうえで、新しい視点や楽しみ方を創造することでより新たな価値を見出す機会として本事業を実施し、航空会社・旅行会社においては市場のニーズに即した魅力的な旅行商品の造成、販売促進、メディアやインフルエンサーにおいては情報発信や拡散をすることで、入域観光客の増加及び消費単価の向上、宿泊日数の延伸を図ることを目的とする。

(事務取扱者)

第3条 本事業は、沖縄県及びOCVBが所管し、OCVB誘客事業部 国内プロモーション課が事務を取り扱う。

(定義)

第4条 この要綱における語句の定義は、次のとおりとする。

- (1) 「ゲスト」とは、航空会社、旅行会社、メディア、インフルエンサーなどのうち、商品造成、広く一般に情報発信等を行うことを目的に本事業を活用する者のことをいう。
- (2) 「ホスト」とは、沖縄本島及び離島における各地域の県内観光施設、観光団体、観光関連個人事業主、観光協会、行政機関などで、本事業においてゲストに提供するための観光コンテンツを開発、保持し、OCVBに登録している者のことをいう。
- (3) 「インフルエンサー」とは、ブロガー、インスタグラマー、YouTuberなどで、沖縄県外の多くの人々に沖縄の好印象を与えることができ、沖縄旅行の機運の醸成に影響力があるとOCVBが判断した者のことをいう。
- (4) 「観光コンテンツ」とは、ホストがゲストに対して提供する沖縄らしさのある体験プログラムのことで、複数のメニューを半日以上かけて体験する「指定コース」と単独で体験可能な「体験メニュー」との二つのことをいう。

(実施対象期間)

第5条 本招聘事業の実施対象期間は、次のとおりとする。

- (1) 前期:平成30年7月17日(沖縄着日)から平成30年10月31日(発地帰着日)

(2) 後期:平成30年11月1日(沖縄着日)から平成31年1月31日(発地帰着日)

2 本招聘事業は予算の範囲内で実施するものとする。

(事業内容)

第6条 本事業の主な内容は、以下のとおりとする。

- (1) 対象地域は、沖縄本島及び離島(久米島町のみ。以下同じ。)とする。
- (2) ホストが申請した観光コンテンツを OCVB が精査し採用した後、ホストがゲストに観光コンテンツを提供する。
- (3) OCVB 主導のもと、ホストが主体となり、ゲストを招聘し、原則として次期の旅行商品の造成・販売促進及び観光資源の拡散・周知を図る。
- (4) 航空会社・旅行会社のゲストは、旅行商品としての改善点等を分析し、招聘期間中に開催されるゲスト、ホスト、OCVB の三者による意見交換会にて提案する。
- (5) メディア関連会社やインフルエンサーのゲストは、旅行先としての価値を見出し、読者や情報を受ける人の興味や関心を自発的に促せるコンテンツであるか等、招聘期間中に開催されるゲスト、ホスト、OCVB の三者による意見交換会にて提案する。

(対象事業者の要件)

第7条 本事業において対象となるゲストは、次の各号を全て満たす事業者とする。ただし、インフルエンサー等が個人事業主の場合は第3号の規定を除き、この限りではない。

- (1) 沖縄県又は他都道府県から指名停止を受けていないこと。
 - (2) 役員に次のいずれかに該当する者が含まれないこと。
 - ①破産者で復権を得ない者。
 - ②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者。
 - ③暴力団による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員又は暴力団でなくなった日から5年を経過しない者(以下、「暴力団の構成員等」という。))。
 - (3) 暴力団の構成員等の統制下でないこと。
 - (4) 本事業を運営するにあたって、必要に応じてOCVBと速やかに連携を行うなど、事業を円滑に履行することができる体制が整備されていること。
 - (5) 旅行会社においては、第1種旅行業又は第2種旅行業を有すること。
- 2 ゲストは、その職業に応じて次の各号の条件を満たした場合のみ申請することができる。その場合、1企画につきグループ2名以上であることを条件とするが、インフルエンサーについてはこの限りではない。また1企業1企画を上限とする。
- (1) 航空会社及び旅行会社においては、商品造成担当、旅行商品について消費者に直接販売、又は説明を行う担当、若しくはメディア、自社媒体等を通じて消費者に訴求を行う担当であること。
なお、本事業を活用した旅行商品の企画を次年度中に行うこと。
 - (2) メディアにおいては、本事業を活用した情報発信を平成31年3月31日までに行之い、成果物を提出すること。
 - (3) インフルエンサーにおいては、自身名義のブログ、YouTube 等又は Instagram、Twitter 等 SNS の読者又はフォロワーが概ね20,000人を超えていること。また、ブログ、YouTube等を利用するインフルエンサー

においては本事業を利用した情報発信を平成31年3月31日までにを行い、Instagram、Twitter 等 SNS を利用するインフルエンサーにおいては招聘の期間内にリアルタイムでの情報発信を行い、成果物を提出すること。なお、情報の内容については、沖縄への訪問意欲をかき立てる又は好印象を与え、影響力のあるものとする。

(応募条件)

第8条 ゲストが応募できるのは、次の各号の全てを満たす場合とする。

- (1) 本島のみ、又は本島と離島で観光コンテンツを体験すること。
- (2) 観光コンテンツのうち、指定コースから1コース以上及び体験メニューから1メニュー以上を選択すること。
- (3) ちゅら島沖縄観光タクシーを1日以上利用すること。ただし、宿泊を伴う本島の滞在がない場合はこの限りではない。
- (4) 招聘期間中に意見交換会に参加すること。
- (5) 県外からの参加であること。
- (6) 国内旅行保険に加入すること。(上限額は1,000円とする)

(負担対象経費)

第9条 OCVBが負担する対象経費は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 発地から沖縄県内の各空港及び那覇と各離島間の航空運賃。ただし、普通運賃を上限とする。
- (2) 一泊あたり9,800円を上限とした宿泊費実費
- (3) 沖縄本島内、離島内及び離島間の移動費
- (4) ホストが提供する観光コンテンツの費用
- (5) 「ちゅら島沖縄観光タクシー」にかかる費用
- (6) 国内旅行保険にかかる費用
- (7) その他、レンタカー代、ガソリン代、駐車場代等OCVBが滞在に必要なと認めた経費

2 対象となる経費は、前項第1号及び第2号を優先するものとする。

3 招聘期間中にホストが提供する観光コンテンツを体験しない日の宿泊費・移動費・その他経費は、原則として対象外とする。

(負担額の上限)

第10条 本事業による OCVB 負担額の上限は、次の表のとおりとする。

本島のみ	2泊3日	1グループ 400,000 円又は 1 名 100,000 円のいずれか低い方
	3泊4日	1グループ 500,000 円又は 1 名 125,000 円のいずれか低い方
本島及び離島	2泊3日	1グループ 500,000 円又は 1 名 125,000 円のいずれか低い方
	3泊4日	1グループ 600,000 円又は 1 名 150,000 円のいずれか低い方

※税込み。4泊以上の場合は3泊4日の負担額を上限とする。

(申請書の提出)

第11条 ゲストは、次の各号に掲げる書類(以下、「申請書類」という。)をOCVBに提出すること。

- (1) 申請書(様式第5号)
- (2) 企画申請書(様式第6号)
- (3) スケジュール(様式第7号)
- (4) 積算書(様式第8号)

2 申請書類の提出日は以下の通りとする。

- (1) 前期(7月17日～10月31日) 希望の場合、平成30年7月6日までに申請書類を提出
- (2) 後期(11月1日～1月31日) 希望の場合、平成30年10月12日までに申請書類を提出

(ゲストの審査)

第12条 ゲストの審査については、申請書類を基に第7条及び第8条の要件を満たしており且つ、行程内容、送客実績、目標、経歴、情報の拡散及び発信力などを総合的に考慮し、決定するものとする。

2 OCVBは、企画申請書類を受領後、1週間以内にゲストに審査結果について通知するものとする。

3 申請書類に虚偽の記載をした場合は、申請を無効とし、以降本事業への申請は認めない。

(変更・辞退申請)

第13条 ゲストが何らかの事情によりやむを得ず申請を辞退又は企画内容を変更する場合は、変更・辞退承認申請書(様式第4号)を速やかに提出し、OCVBの承認を受けること。

(実施報告書の提出)

第14条 ゲストは、招聘が終了した日から起算して14日以内又は平成31年2月14日までのどちらか早い期日までに、次の各号に掲げる書類(以下、「実施報告書類」という。)を提出すること。

- (1) 実施報告書(様式第9号)
- (2) 視察シート(様式第10号)
- (3) 精算書(様式第11号)
- (4) 原本証明(様式第12号)
- (5) 搭乗証明書
- (6) 第9条第1項に掲げる費用の領収書の写し

(負担額の決定)

第15条 OCVBは、提出された実施報告書類が第8条及び第9条の条件を満たしているか審査し、負担額を決定する。

2 OCVBは、適切と判断したものについて、交付決定通知書をもってゲストに負担額を通知する。

3 OCVBは、適切でないと判断したものについては、負担額の一部又は全部を交付しない。

(請求及び支払い)

第16条 ゲストは、交付決定通知書に記載された提出期限日までに、請求書(様式第13号)に金額を記入し、OCVBに提出しなければならない。OCVBは請求書受理日から30日以内にゲストが指定した金融機関の口座

へ振り込むものとする。

(書類の管理)

第17条 負担額の交付を受けたゲストは、経理を明確にするとともに、関係書類を善良な管理の下に5年間保存しなければならない。

(費用負担の取消し及び返還)

第18条 OCVBは、次の各号のいずれかに該当する場合は、ゲストの費用負担の決定を取り消し、既に負担した額の全部又は一部を返還させることができる。

- (1) この要綱の規定に違反したとき、又は申請書等の提出書類に虚偽の記載をしたとき。
- (2) 当事業に係る調査を行ったときに、調査に協力しない、又は調査した内容と申請内容に違いがみられたとき。

(免責事項)

第19条 当事業の履行において、OCVBとゲスト間以外で発生した問題に対し、OCVBは一切関与しない。

(その他)

第20条 この要綱に定めのない事項については、沖縄県とOCVBが協議して決定する。

- 2 本事業は予算の範囲内で実施されるものとし、募集期間内であっても予算の上限に達した場合は受付を終了するものとする。
- 3 予算の都合上、本要綱に定めるものより負担決定額が下回ることがある。

※本事業についての詳細は、別添：手順書に記載している内容を確認すること。

附則

この要綱は、平成30年6月14日から適用する。

【問い合わせ・申請先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1 産業支援センター2F

誘客事業部 国内プロモーション課

担当：森田・屋良

TEL:098-859-6125 FAX:098-859-6222 E_mail:kokunai_rosen@ocvb.or.jp